

ハクサンイチゲ

Anemone narcissiflora L. subsp. *nipponica* (Tamura) Kadota
キンポウゲ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：—

【環境省カテゴリー】—

選定理由

既知の生育地点は1箇所である。前回の調査では取り上げられなかったが、県内での生育地が亜高山に限られているため、県域絶滅危惧Ⅰ類とした。

分 布

本州中部の高山帯に分布する。県内では嶺北地方で確認されている。

種の特徴

高山帯の湿った草原に生える多年草。根出葉は長い柄があり、束生する。茎葉は4枚で輪生し、柄が無く、細い片に欠刻する。6～8月、散形状に1～5個、直径2～2.5cmの花をつける。花には花弁が無く、萼片は花弁状で5～7枚、白色。

生育を脅かす要因

生育地である亜高山の植生の変化。温暖化による生育地の減少。園芸目的の採取。とくに、登山道整備での注意が必要である。

参考文献 佐竹義輔ほか（1982b）、福井県植物研究会（1997）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
																○	

サンリンソウ

Anemone stolonifera Maxim.
キンポウゲ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：—

【環境省カテゴリー】—

選定理由

既知の生育地点は1箇所である。

分 布

北海道～本州中部に分布する。県内では嶺北地方で確認されている。

種の特徴

亜高山帯やブナ帯の林縁や林床に生える多年草。匍枝を出して繁殖する。高さは15～30cm。根出葉は3出複葉で、小葉は小葉柄があり、側小葉はさらに2深裂する。茎葉は3枚が輪生し、有柄で、3深裂する。6～7月頃、直径約1.5cmの花を1～4個つける。

生育を脅かす要因

生育地である亜高山の植生の変化。温暖化による生育地の減少。園芸目的の採取。とくに、登山道整備での注意が必要である。

参考文献 佐竹義輔ほか（1982b）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
																○	

エンコウソウ

Caltha palustris L. var. *enkoso* H.Hara
キンポウゲ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅰ類

【環境省カテゴリー】—

選定理由

既知の生育地点は4箇所である。もともと稀産種であり、生育が深山の湿地に限られており、野生での存続が危ぶまれるため、県域絶滅危惧Ⅰ類とした。

分 布

北海道～本州に分布する。県内では嶺北地方で確認されている。

種の特徴

浅い水中や湿地に生える多年草。根出葉は心円形～腎円形、基部は深くへこむ。5～6月頃、茎頂および茎葉の腋より1個ずつ花をつける。花後、花茎が倒れるように曲がって地につき、節より発根し、芽をつける。

生育を脅かす要因

生育地である湿地の開発。植生遷移で大型の植物が増加すること等による生育環境の悪化。園芸目的の採取。

参考文献 佐竹義輔ほか（1982b）、福井県植物研究会（1997）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
											○				○	○	